

事業所名 子ども支援センターワーク 支援プログラム（参考様式） 作成日 2025 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念		・私たちは、発達や成長に個性のある子どもたち一人ひとりが、社会生活（学校・地域・家庭）の中で安心して自分らしく過ごせるよう、当事者の立場に立って支援します。 ・子どもたちが「できた」「わかった」「伝わった」と感じられる体験を重ね、自己肯定感と社会参加の力を育みます。									
支援方針		・子どもたちが社会（学校・地域など）の中で自分らしく生活できるよう、一人でできることを少しずつ増やし、自信をもって行動できる力を育てます。 ・仲間や大人との関わりを通して、思いやり・責任感・自己表現力を高め、将来に向けた自立の基盤づくりを支援します。									
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・子ども一人ひとりの特性や生活リズムに応じて、日々の約束事や行動の見通しを共有し、自ら確認できるよう支援します。 ・個別・集団活動を通して「できたこと」を実感し、生活面への関心と主体的な行動力を育てます。									
	運動・感覚	・様々な活動に興味を持って参加できるよう促し、遊びや創作活動を通して目や手先の動き、体の使い方を学びます。 ・体を動かす心地よさを感じながら、集中力やバランス感覚、達成感を高める支援を行います。									
	認知・行動	・自分で目標を立て、振り返る力を育てます。時間やルールを意識して行動し、達成できた経験を褒めることで自己肯定感を養います。 ・個別支援では数量の概念や計算力など学習面の基礎定着を図り、考える力と自信を伸ばします。									
	言語コミュニケーション	・日常の中での会話や語らいを大切にし、相手の気持ちを理解しながら自分の考えや思いを言葉で伝えられるよう支援します。 ・教材やグループ活動を通して、ルールを守りながら感情をコントロールする力を育みます。									
	人間関係社会性	・個別支援では、日常生活や人間関係の困りごとについて振り返り、ソーシャルスキルトレーニングを行います。 ・集団活動全般を通して適切な声かけや他者への配慮を学び、協調性と自己調整力を高める支援を行います。									
家族支援		・保護者面談や日常の来所時を通して、家庭での様子や支援経過を共有し、相互理解を深めながら連続性のある支援を行います。 ・家庭と事業所が協働し、子どもの成長を共に見守る体制を整えるとともに、必要に応じて家庭での支援方法や学習・生活習慣への助言も行います。						移行支援		・子どもの将来の進路や生活を見据え、発達や適性を踏まえた評価を行い、保護者の意向を確認しながら情報を共有します。 ・学校や関係機関との連携を図り、切れ目のない支援体制を整えます。	
地域支援・地域連携		・学校や関係機関と連携し、情報共有と協働を通して一貫した支援を行います。地域資源を活かし、子どもと家庭が安心して生活できる環境づくりを進めます。						職員の質の向上		・日々の支援や会議の中で意見交換や振り返りを行い、職員間で共通理解を深めます。子どもの成長や支援内容を共有しながら、実践を通して支援の質と専門性の向上を図ります。	
主な行事等		・季節や行事の意味を大切にしながら、子どもの興味や成長段階に応じた活動を計画的に実施します。 ・体験を通して社会性や表現力を育み、楽しみながら学べる機会を提供します。									